

順位	申請団体		申請事業名	事業計画	団体からの要望額	査定額 (配分額)
	団体名	代表者(敬称略)				
1	谷戸川溪谷をきれいにする会	渡辺 道子	谷戸川エリア環境整備事業	谷戸川及び町道への倒木や、不法投棄ゴミを除去して環境整備を行う。 初年度は、生沢近くの鉄橋、その上流の石橋付近を中心に、竹や不法投棄の除去を行う。将来的に竹の有効利用や自然観察などが楽しめる場所を目指す。	100,000	100,000
2	大磯町東光院 親と子の朗読会実行委員会	伊藤 玄二郎	親と子の朗読会	朗読会を開催することで、美しい日本語と絵の魅力などの豊かな文化や教養に触れる機会を創出し、また、朗読者である学生にとっては実践的な学びの場となり、子育て世代や中高大学生世代・高齢者世代など世代間交流の場となる。地域に根差し、地域貢献に資する活動とする。	100,000	100,000
3	NPO法人大磯だいすき倶楽部	富山 昇	第5回大磯まちづくりフォーラム「さあ、大磯で私たちの物語をはじめよう」	交流から定住を促進し、若者の移住を促進する上で必要となる、地元で暮らし「なりわい」作りのキーワードの一つ「第三者への継業」について、具体的に進める為の方策と全国の事例を知り、大磯で具体的に「なりわい」を始める手掛かりとする。	180,000	180,000
4	大磯マコモ研究会	西方 安雄	マコモの里大磯作り	大磯の特産物である「マコモタケ」を町内の農家に対し栽培促進し、集会等においてマコモタケの説明や、レシピを載せたチラシを配布して普及啓発活動を行う。また、収穫時期に町内販売店等に、のぼり旗や看板、ポスターを設置する。	240,850	187,000
5	SSE大磯リーダー会	川村 紀佐子	認知症予防運動プログラム	町民の健康維持・増進と脳の健康（認知症予防）に効果的な運動であるスクエアステップを、地区町内に普及する。また、高齢者が気軽に集まり、体を動かせる環境を作る。 現在、24地区中8地区でスクエアステップが実施されており、今年度は1日の体験会を新たに10地区で行うとともに、スクエアステップの「地域指導者育成」のための研修会を実施する。	159,000	120,000
6	社会福祉法人エリザベス・サンダース・ホーム 澤田美喜記念館	小川 正夫	澤田美喜の文化啓発事業（澤田美喜の功績を啓発してゆく）	澤田美喜は戦後史に残る社会福祉事業家で大磯の名誉町民である。戦後の混乱期に単身女性の力で社会福祉事業を興した澤田美喜の功績を、多くの方々に学習してもらうために講演会を実施する。	200,000	142,000
7	大磯・水の学校	浅野 重人	大磯・水の学校	大磯町には多くの自然があり、自然からは本能力や対応力、何かを産み出す創造力を学ぶことができる。照ヶ崎プールや大磯の海を有効利用したSUP（スタンディングアップボード）とカヌー教室を開催することで、自然と触れ合い、楽しみながら学ぶことで、感性豊かな人間育成を目指す。	500,000	171,000